

大地は語る。

見て・触れて・聴く、地質学って何だろう？

2010 5/15-16

京都大学地質学鉱物学教室・総合博物館共催 地質の日記念企画展

場所：京都大学総合博物館1階ホール・ミュージラボ

主な展示・企画

・化石スケッチワークショップ（5月16日 スケッチ指導：10:30, 13:30）

・化石クリーニング実演展示（5月16日 随時）

・こども地質なんでも相談室（5月16日 随時）

学問は議論を通して深まります。地質の先生や大学院生にわからないことをいろいろ聞いてみよう。

・石を顕微鏡で見る！（岩石薄片作成法と偏光顕微鏡展示）

石も、透き通るくらい薄く磨いたら顕微鏡で観察できるって知ってました？しかも、”偏光”顕微鏡で見れば、驚きのカラフルな世界が広がります。薄片になった岩石を顕微鏡で見てみましょう！

・博物館常設展示（地質）解説ミニツアー（5月16日 14:00, 15:00）

・京都災害危険度マップ展示

・第51次日本南極地域観測隊（最新！）の地質調査風景・南極の石・観測隊の装備の展示

・大学院生フロンティア・ミニレクチャー ～大地の読み書き方教えます～（小学校高学年以上向け）

北川博道「小さくなったゾウ ～化石生物の生き残りをかけた戦略～」5月16日 10:00

北愛美「古地磁気学ってなんだろう？～石や土からよみがえる昔の地球の姿～」5月16日 11:00

上田匡将「地震で地下が融けている？～地面に出てきた震源領域を見る～」5月16日 12:00

福永卓也「石からさぐる、むかしの天気 ～世界の古気候研究最前線～」5月16日 13:00

横山隆臣「石に年齢を聞く ～元素が語る年代学～」5月16日 14:00

野本哲也「顕微鏡で見る鉱物の世界」5月16日 15:00

他、多数。

※参加・体験型の企画は人数に限りがある場合がございます。予めご了承ください。

関連企画・展示

・博物館レクチャー：「エベレストの謎」酒井治孝教授（京大・理）（5月15日 10:30-12:00）、

・「科学技術Xの謎」トークショー：松岡廣繁助教（京大・理）専門：脊椎動物化石（鳥・恐竜など）（5月15日午後）

・日本初の地球潮汐の観測に使われた傾斜計—70年ぶり復元展示



京都大学ネットワーク
MUSEUM
THE KYOTO UNIVERSITY MUSEUM

お申し込み：申込は不要です。直接博物館へお越しください。

対象：一般（小学生以下の場合には保護者同伴）

参加費：無料です。ただし、博物館への入館料は必要です。

一般400円/大学生・高校生300円/中学生・小学生200円

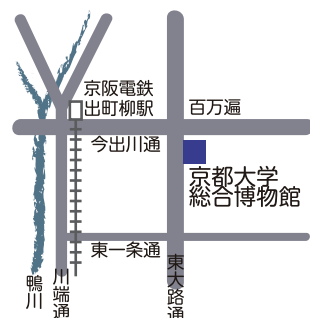
70才以上の方、身体障害者の方は入館無料です。

問い合わせ先：〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学総合博物館 TEL 075-753-3272

ホームページ <http://www.museum.kyoto-u.ac.jp>

5月10日は地質の日
「地質の日」関連イベント



京都バス「百万遍(ひゃくまんべん)」下車徒歩約1分
京阪電鉄「出町柳(でまちやなぎ)」下車徒歩約15分
※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用下さい。